

令和6年7月19日

交通事故概況

令和6年6月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(6月末計上数(確定数))

1 令和6年6月末の交通事故発生状況

区分\内容	6月中		6月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	600	-101	4,234	-72
死者数(人)	11	1	41	-2
傷者数(人)	684	-129	5,030	-47

[過去10年、6月中6月末の推移]

区分\年別	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	過去平均		R6年
												10か年	
6月中死者	15	16	10	17	6	11	10	13	5	10	11	10	11
6月末死者	76	76	62	58	62	53	54	52	43	43	58	49	41
年間死者数	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131	151	134	—

都道府県別(6月中)

順位	1	2	4	5
都道府県名	千葉	福岡	北海道	兵庫
死者数	12	11	10	9

都道府県別(6月末)

順位	1	2	3	4	10
都道府県名	千葉	東京	愛知	兵庫	大阪
死者数	72	69	65	54	41

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 6月中の死亡事故(死者11人)

- 事故類型別：正面衝突が5人(45.5%)、人対車両、自転車対車が各々2人(18.2%)
- 道路別：国道、道道、市町村道が各々3人(27.3%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、非市街地カーブが各々4人(36.4%)
- 発生時間別：20～22時が3人(27.3%)、6～8時、12～14時が各々2人(18.2%)
- 第一当事者年齢別(1当原付以上)：若年運転者(25歳未満)が4人(36.4%)、高齢運転者が3人(27.3%)
- 第一当事者違反別(1当原付以上)：前方不注意が5人(45.5%)、操作不適2人(18.2%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が5人(45.5%)、50歳代の死者が3人(27.3%)

(2) 6月末の死亡事故(死者41人)

- 事故類型別：
 - ・人対車両が15人36.6%(うち前方不注意が4人26.7%、最高速度、歩行者妨害が各々2人13.3%)
 - ・正面衝突が10人24.4%(うち前方不注意が5人50.0%、過労運転によるもの、操作不適が各々2人20.0%)
 - ・車両単独が9人22.0%(うち前方不注意が5人55.6%)
- 道路別：
 - ・道道が15人36.6%(うち人対車両が6人40.0%、正面衝突が5人33.3%)
 - ・市町村道が11人26.8%(うち人対車両が7人63.6%、車両単独が2人18.2%)
 - ・国道が9人22.0%(うち自転車対車、車両単独が各々3人33.3%)
- 地形・道路形状別：
 - ・市街地交差点が14人34.1%(うち最高速度、歩行者妨害、信号無視、前方不注意が各々2人14.3%)
 - ・非市街地直線が13人31.7%(うち前方不注意が5人38.5%、最高速度が3人23.1%)
- 発生時間別：
 - ・12～14時が8人19.5%(うち車両単独が4人50.0%、人対車両、正面衝突が各々2人25.0%)
 - ・10～12時が6人14.6%(うち正面衝突が3人50.0%、車両単独が2人33.3%)
- 第一当事者年齢別(1当原付以上)：
 - ・高齢運転者による死者が16人39.0%(うち車両単独が7人43.8%、正面衝突が4人25.0%)
 - ・50歳代運転者による死者が7人17.1%(うち正面衝突が3人42.9%)
- 第一当事者違反別(1当原付以上)：
 - ・前方不注意が15人36.6%(うち正面衝突、車両単独が各々5人33.3%)
 - ・最高速度が5人12.2%(人対車両が2人40.0%)
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が25人61.0%(うち人対車両が10人40.0%、車両単独8人32.0%)
 - ・50歳代の死者が7人17.1%(うち人対車両、正面衝突が各々2人28.6%)
- シートベルト非着用者：
 - 自動車(二輪を除く)乗車中の死者20人中、シートベルト非着用者は7人(35.0%)であり、5人(71.4%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

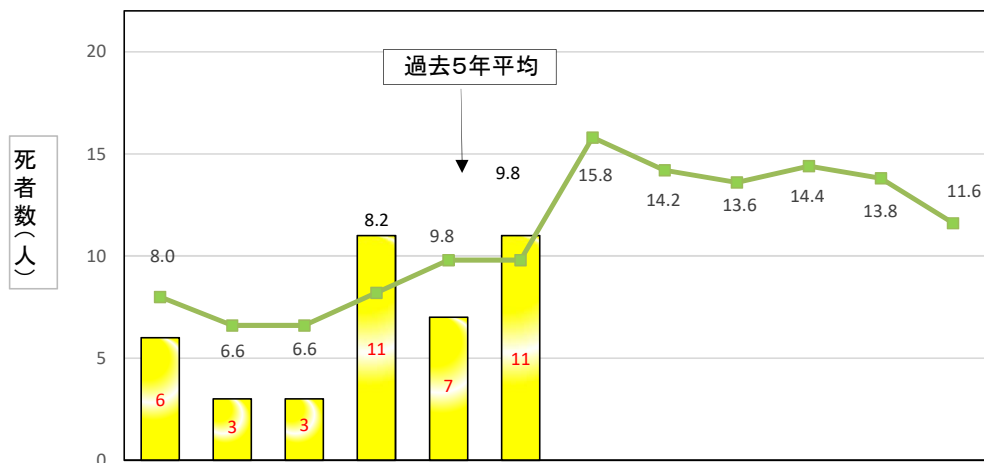
(3) 方面別発生状況

6月中の死者数は、札幌方面が6人(54.5%)、釧路方面が5人(45.5%)となっている。
 6月末の死者数は、札幌方面が21人(51.2%)、釧路方面が7人(17.1%)、旭川方面が6人(14.6%)、北見方面が4人(9.8%)、函館方面が3人(7.3%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数			
		前年比		前年比		前年比			前年比		前年比		前年比		
6月中	全道	600	-101	11	1	684	-129	6月末	全道	4,234	-72	41	-2	5,030	-47
	札幌方面	403	-104	6	2	446	-127		札幌方面	3,150	-66	21	-3	3,773	2
	函館方面	43	3		-5	62			函館方面	251	-1	3	-3	292	-18
	旭川方面	60	1			66	-9		旭川方面	357	25	6	1	433	35
	釧路方面	80	-2	5	4	91	3		釧路方面	383	-13	7	3	423	-34
	北見方面	14	1			19	4		北見方面	93	-17	4		109	-32

(4) 月別発生状況の推移

6月中の死者数は11人で過去5年平均9.8人を上回っている。
 6月末の死者数は41人で過去5年平均49.0人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	6	3	3	11	7	11							41
年間累計	6	9	12	23	30	41							
過去5年平均	8.0	6.6	6.6	8.2	9.8	9.8	15.8	14.2	13.6	14.4	13.8	11.6	132.4
累計平均	8.0	14.6	21.2	29.4	39.2	49.0	64.8	79.0	92.6	107.0	120.8	132.4	

(5) 都道府県別死者数

6月中は千葉県が12人で最も多く、次いで福岡県、北海道が11人、兵庫県が10人、東京都、愛知県が9人となっている。
 6月末は千葉県が72人で最も多く、次いで東京都が69人、愛知県が65人、兵庫県、大阪府が54人、北海道は41人で10位となっている。

区分\都道府県	千葉	福岡	北海道	兵庫	東京	愛知	大阪	神奈川	岐阜	沖縄	全国
6月中死者数	12	11	11	10	9	9	8	8	8	8	198
ワースト順位	1	2	2	4	5	5	7	7	7	7	-
前年比	3	7	1	9	1	0	-1	-6	3	5	22
増減率(%)	33.3	175.0	10.0	900.0	12.5	0.0	-11.1	-42.9	60.0	166.7	12.5

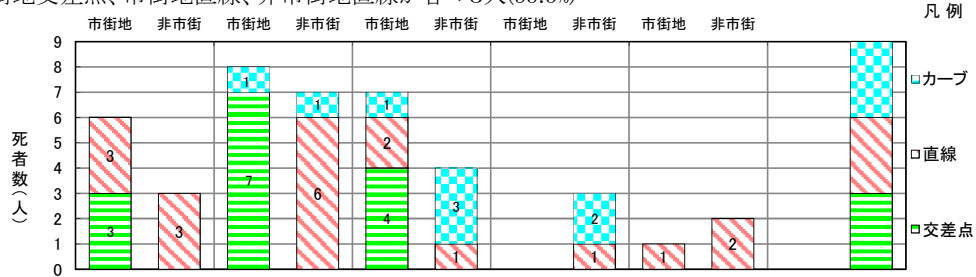
区分\都道府県	千葉	東京	愛知	兵庫	大阪	神奈川	福岡	茨城	埼玉	北海道	全国
6月末死者数	72	69	65	54	54	51	47	44	44	41	1,182
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	8	8	10	-
前年比	15	17	-7	14	-26	-7	3	-1	-4	-2	1
増減率(%)	26.3	32.7	-9.7	35.0	-32.5	-12.1	6.8	-2.2	-8.3	-4.7	0.1

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道が15人(36.6%)、次いで市町村道が11人(26.8%)、国道が9人(22.0%)となっている。

- ・ 道道は市街地交差点が7人(46.7%)、非市街地直線が6人(40.0%)
- ・ 市町村道は市街地交差点が4人(36.4%)、非市街地カーブが3人(27.3%)
- ・ 国道は市街地交差点、市街地直線、非市街地直線が各々3人(33.3%)

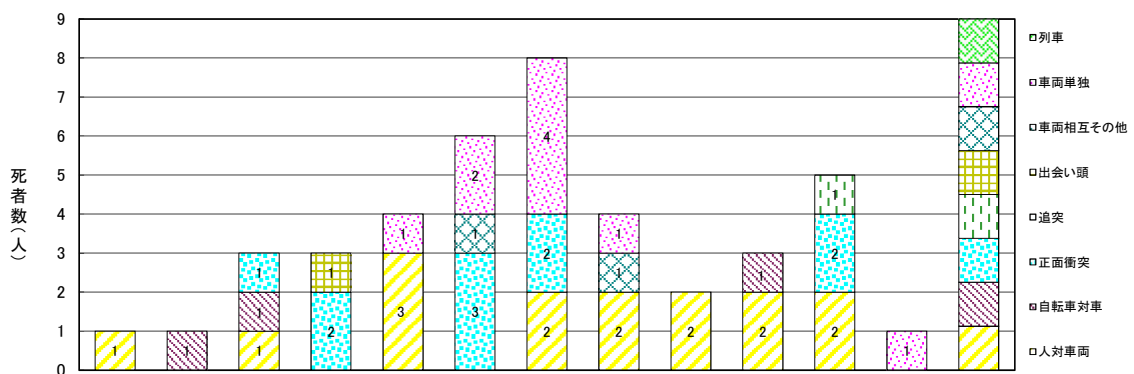


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	9	15	11	3	3	41
構成率(%)	22.0	36.6	26.8	7.3	7.3	100.0
過去5年構成率	39.9	21.0	30.9	2.6	5.6	100.0

(2) 時間別

12～14時が8人(19.5%)、10時～12時が6人(14.6%)となっている。

- ・ 12～14時は車両単独が4人(50.0%)、人対車両、正面衝突が各々2人(25.0%)
- ・ 10～12時は正面衝突が3人(50.0%)、車両単独が2人(33.3%)

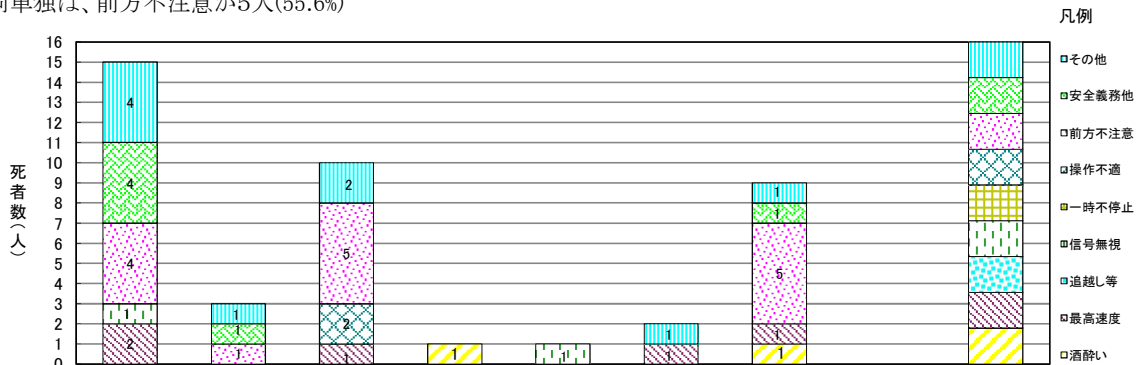


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	1	1	3	3	4	6	8	4	2	3	5	1	41
構成率(%)	2.4	2.4	7.3	7.3	9.8	14.6	19.5	9.8	4.9	7.3	12.2	2.4	100.0
過去5年構成率	3.4	2.6	3.0	6.9	10.7	15.0	15.0	15.0	7.3	8.2	8.6	4.3	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が15人(36.6%)、正面衝突が10人(24.4%)、車両単独が9人(22.0%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が4人(26.7%)、最高速度が2人(13.3%)
- ・ 正面衝突は、前方不注意が5人(50.0%)、過労運転によるもの(その他に含まれる)、操作不適が各々2人(20.0%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が5人(55.6%)



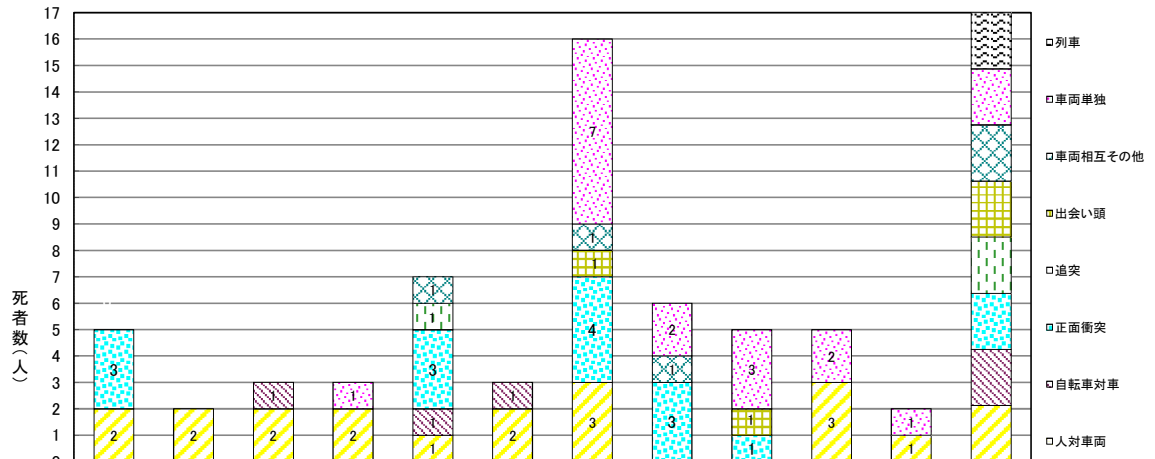
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	15	3	10	1	1	2	9	41	
構成率(%)	36.6	7.3	24.4	2.4	2.4	4.9	22.0	100.0	
過去5年構成率	28.8	6.4	21.5	0.9	9.0	3.9	29.2	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別 (第1当原付以上)

高齢運転者による死者が16人(39.0%)、50歳代運転者による死者が7人(17.1%)となっている。

- ・高齢運転者は、車両単独が7人(43.8%)、正面衝突が4人(25.0%)
- ・50歳代運転者は、正面衝突が3人(42.9%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	5	2	3	3	7	3	16	6	5	5	2	41
構成率 (%)	12.2	4.9	7.3	7.3	17.1	7.3	39.0	14.6	12.2	12.2	4.9	100.0
過去5年構成率	6.4	3.4	6.4	18.5	12.4	9.9	37.3	12.0	8.6	16.7	5.6	100.0

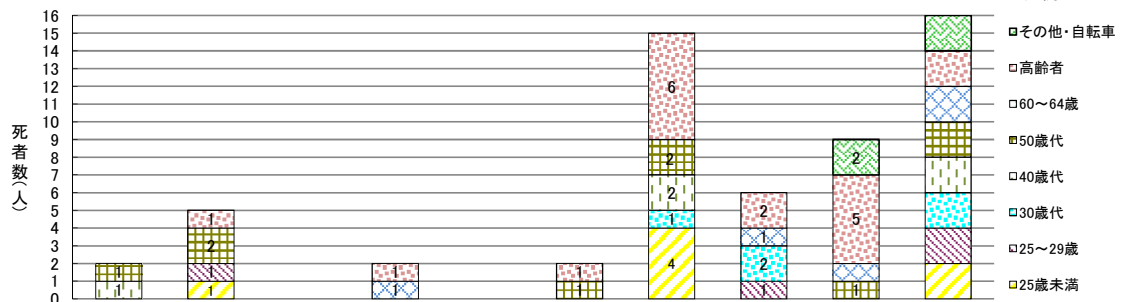
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別 (第1当原付以上)

前方不注意によるものが15人(36.6%)、次いで最高速度が5人(12.2%)となっている。

- ・前方不注意は、高齢運転者による死者が6人(40.0%)、若年運転者(25歳未満)による死者が4人(26.7%)
- ・最高速度は、50歳代の運転者による死者が2人(40.0%)

凡例



区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数	2	5		2		2	15	6	9	41
構成率 (%)	4.9	12.2		4.9		4.9	36.6	14.6	22.0	100.0
過去5年構成率		1.7	10.7	7.3	4.7	1.7	11.2	34.8	27.9	100.0

注 「その他」に1当自転車、歩行者を含を含む。

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が14人(34.1%)、次いで非市街地直線が13人(31.7%)となっている。

- ・市街地交差点は、人対車両が9人(64.3%)
- ・非市街地直線は、正面衝突が5人(38.5%)、車両単独が4人(30.8%)

凡例



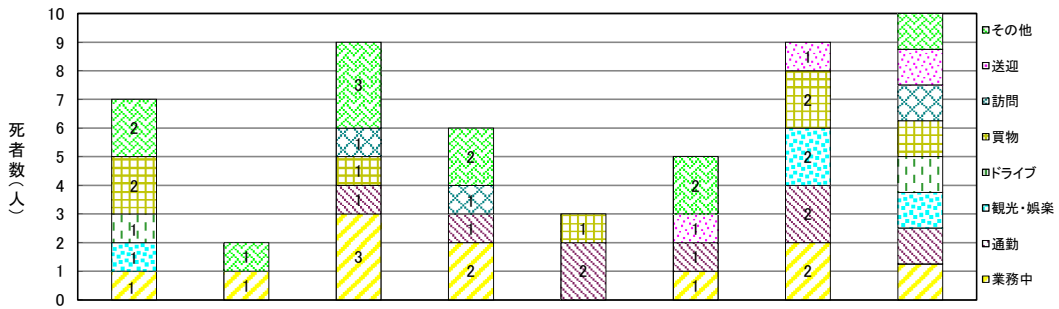
地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	14	6	2	22	13	6	6	19	41
構成率 (%)	34.1	14.6	4.9	53.7	31.7	14.6	14.6	46.3	100.0
過去5年構成率	31.8	16.3	3.9	51.9	5.2	24.9	18.0	48.1	100.0

(7) 曜日別

火曜日、土曜日が各々9人(22.0%)となっている。

- ・火曜日は、業務中が3人(33.3%)
- ・土曜日は、業務中、通勤、観光・娯楽、買物が各々2人(22.2%)

凡例



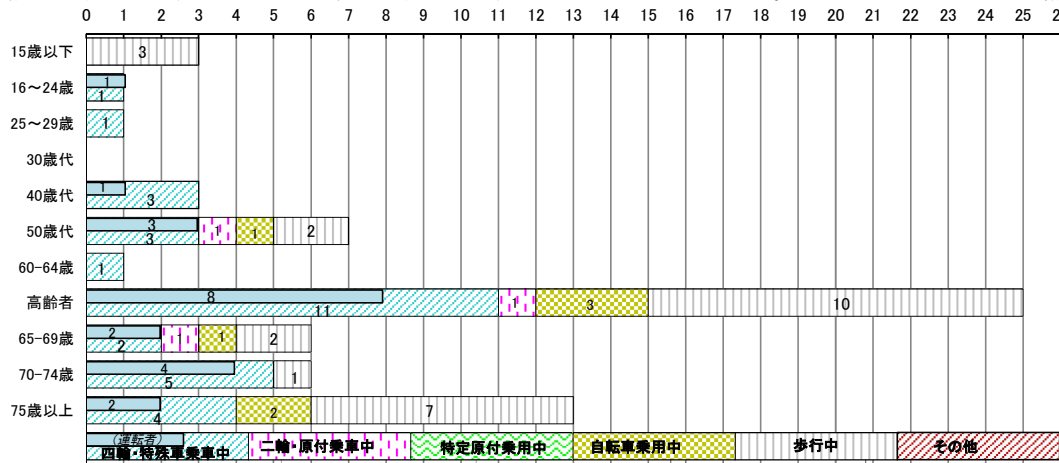
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	7	2	9	6	3	5	9	41
構成率 (%)	17.1	4.9	22.0	14.6	7.3	12.2	22.0	100.0
過去5年構成率	18.9	9.9	14.2	12.4	14.2	16.3	14.2	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者が25人(61.0%)、次いで50歳代が7人(17.1%)となっている。

四輪乗車中の死者数が20人(48.8%)、歩行中の死者数が15人(36.6%)となっている。

死者数(人)



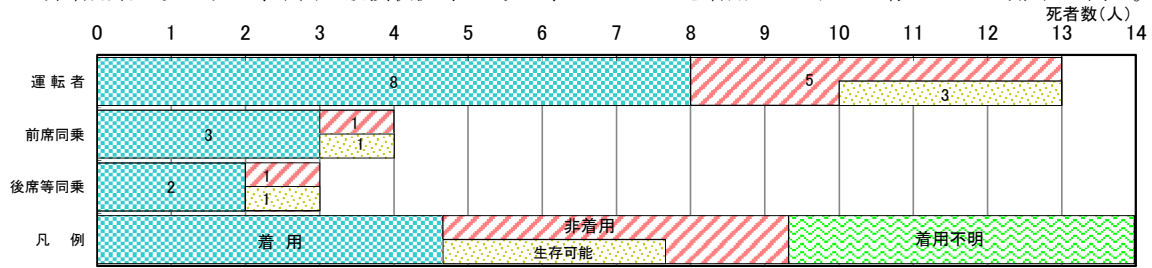
状態別 年齢層別\		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
		15歳以下	死者数							
16~24歳	死者数	1						1	2.4	2.6
25~29歳	死者数	1						1	2.4	2.1
30歳代	死者数									5.6
40歳代	死者数	3						3	7.3	9.4
50歳代	死者数	3	1		1	2		7	17.1	13.3
60~64歳	死者数	1						1	2.4	9.0
高齢者	死者数	11	1		3	10		25	61.0	55.4
65~69歳	死者数	2	1		1	2		6	14.6	10.3
70~74歳	死者数	5				1		6	14.6	11.2
75歳以上	死者数	4			2	7		13	31.7	33.9
計	死者数	20	2		4	15		41	100.0	
	構成率	48.8	4.9		9.8	36.6		100.0	—	—
	過去5年構成率	52.4	9.9		8.2	28.8	0.9	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者20人中、シートベルト非着用者は7人(35.0%)となっている。
非着用者のうち5人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪 乗車中 等	着用			非着用			着用 不明				
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可		同乗者(後部席) 生存可			
令和6年	20	13	8	3	2	7	5	3	1	1	1	1
構成率(%)	100.0	65.0	61.5	23.1	15.4	35.0	71.4	60.0	14.3	100.0	14.3	100.0

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が5人(71.4%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	高齢者の内訳			その他・不明	計
								65～69歳	70～74歳	75歳以上		
ベルト着用	1	1		2	2	1	6	1	5			13
構成率(%)	7.7	7.7		15.4	15.4	7.7	46.2	7.7	38.5			100.0
ベルト非着用				1	1		5	1		4		7
構成率(%)				14.3	14.3		71.4	14.3		57.1		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者7人の損傷加害部位をみると天井、座席が各々2人(28.6%)、ハンドル、フロントガラスが各々1人(14.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
ベルト着用			1	1					2	4	4		13
構成率(%)			7.7	7.7					15.4	30.8	30.8		100.0
ベルト非着用			1	1				2	2			1	7
構成率(%)			14.3	14.3				28.6	28.6			14.3	100.0
運転者			1	1				2				1	5
構成率(%)			14.3	14.3				28.6				14.3	71.4
同乗者									2				2
構成率(%)									28.6				28.6

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。